

商品・サービスの提供に関する取組み

当社は、お客さま第一を実践するため、「真にお客さまの視点にたった商品・サービスの実現」に取り組んでいます。

具体的には、以下の目標を設定し、取組みを推進しています。

- お客さまの中長期的な資産形成に貢献する商品の提案・提供に取り組めます。
- お客さまに安心してファンドを保有していただくための有益な情報提供・資料作成を行います。
- お客さまへのサービスを拡充しつつ、運用報酬の引き下げを目指します。

カテゴリ別の取組み方針

当社の個人投資家事業は、主として公募投信を対象としています。個人投資家の資産形成に資するという観点から、ファンドラップに提供している私募投信も対象に含めています。同事業では、ファンドごとの分配方針により、3つのカテゴリに分けて管理しています。

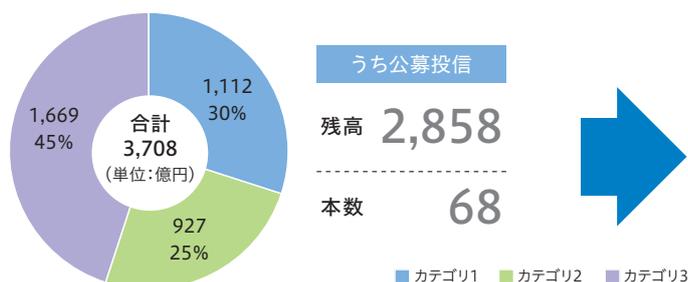
カテゴリ1	決算期ごとにインカム収入を中心に分配を行うことを目指すファンド
カテゴリ2	決算期におけるファンドの運用成果をもとに、分配を行うことを目指すファンド
カテゴリ3	中長期的な観点から、複利効果による資産の成長を目指すために分配を抑えるファンド

カテゴリ1は、毎月分配型のファンドが該当します。当社は、基準価額を下げても分配を行わないという方針のもと、これまで分配金の水準が過大であった毎月分配型ファンドについて、減配を実施してきました。このため、カテゴリ1のファンドは、残高・シェアともに低下傾向にあります。

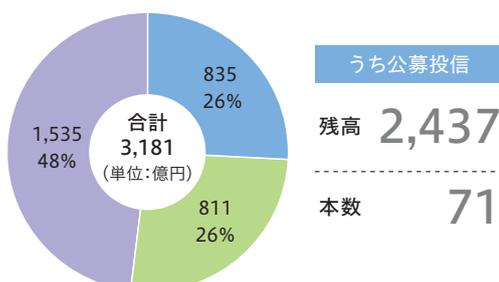
カテゴリ3は、中長期の資産形成の観点から、当社が最も注力しているカテゴリです。確定拠出年金(以下「DC」)に採用されている商品やファンドラップに提供している私募投信等がカテゴリ3のファンドに該当します。お客さまにとって資産が「積み上がっていく商品」と言えます。

2018年度も、カテゴリ1(毎月分配型商品)が残高・ウェイトともに減少する一方、カテゴリ3(積み上がっていく商品)は残高は減少していますが、ウェイトは拡大傾向にあります。

個人投資家事業カテゴリ別内訳(2018年3月末)



個人投資家事業カテゴリ別内訳(2019年3月末)

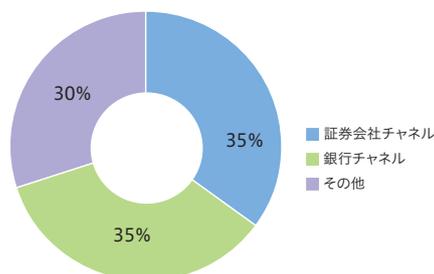


投資信託の販売チャネル別の資産残高の内訳

公募投信の資産残高のうち、販売チャネル別の割合(2019年3月末)は、証券会社チャネルが35%、銀行チャネルが35%、その他チャネルが30%となっています。

その他チャネルには、DC専門の運営管理機関、保険会社が含まれます。

なお、SOMPOホールディングスグループでは、DC専門の運営管理機関はありますが、お客さまへ投資信託の勧誘を行う販売チャネルは有していません。



運用商品の提供に関する基本方針

当社は、2018年1月、当社が提供する運用商品に関する基本的な考え方として、同方針を公表しました。

運用商品のご提供に関する基本方針(骨子)

高い品質	～お客さまの中長期的な資産形成に資する商品を提供します。
有益な情報	～お客さまに安心してファンドを保有していただくための有益な情報提供・資料作成を行います。
適切な運用報酬	～お客さまへのサービスに見合った合理的な水準を設定するとともに、既存商品における運用報酬の引き下げを目指します。
明確な分配方針	～商品ごとの分配方針を明確にし、お客さまによって異なる分配ニーズに見合った商品を提供します。

- ・公募投信を新規設定する際は、同方針の各項目の充足状況をチェックし、設定可否を判断するスキームとしています。
- ・お客さまの知識や経験などを踏まえ、商品ごとに、販売対象として想定するお客さま属性を区分し、販売会社の担当者へ説明を行うことで、商品に関する理解を深めてもらう取り組みを行っています。
- ・同方針に基づき、2019年1月には、「次世代金融テクノロジー株式ファンド※」を設定しました。ファンドの組み入れ銘柄の紹介や、ファンド紹介動画を作成するなど、お客さまへの有益な情報提供に努めています。

※ 金融とテクノロジーの融合によって生まれる次世代の金融サービスに関連する企業の株式に投資するファンド。



ユニバーサルデザイン化の取組み

当社は、お客さまにとって見やすく、分かりやすい資料を提供するため、各種資料へのユニバーサルデザインの導入を進め、交付目論見書、交付運用報告書(公募)について対応が終了しました。

2018年10月、昨年度に引き続き、販売資料において一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会(以下「UCDA」)の「UCDAアワード2018」を受賞しました。

■ 「UCDAアワード2018(対象分野：投資信託)」を受賞

UCDAが主催する「UCDAアワード2018」の投資信託分野において、「ターゲット・リターン戦略ファンド(愛称 ターゲット4U)」の販売用資料が、最高賞にあたる「UCDAアワード2018」を受賞しました。(2018年10月)

UCDAアワード2018は、企業(団体)・行政が生活者に発信するさまざまな情報媒体を、産業・学術・生活者の知見により開発した尺度を使用して「第三者」が客観的に評価し、優れたコミュニケーションデザインを表彰するものです。

当社では、2017年5月に「顧客本位の業務運営に関する原則」の採択と「お客さま第一の実践に向けたアクションプラン」の公表を行っています。その実践のひとつとして「お客さまに安心してファンドを保有していただくための有益な情報提供・資料作成」に取り組んでいます。

この販売用資料についても、ファンドのコンセプトをわかりやすく伝えるため、資産形成の必要性をお金の相談をしながら理解していただけるストーリー仕立ての説明を行い、見やすさという点では、情報量、文字の大きさやグラフの見せ方などを工夫した結果、受賞にいたったものです。



つみたてNISAの対象商品

当社の公募投信のうち、以下の3ファンドが「つみたてNISA」対象商品として選定されています。

- ・ハッピーエイジング20
- ・ハッピーエイジング30
- ・ハッピーエイジング40

なお、上記3ファンドを含む「ハッピーエイジング・ファンド※」については、運用商品の提供に関する基本方針に基づき、2018年4月より運用報酬の引き下げを行っています。

※ハッピーエイジング20、30、40、50、60の5ファンドからなる、内外の株式・債券に投資を行う、バランス型投信（アクティブ運用）。2019年8月末の純資産残高は、シリーズ計で503億円。

【つみたてNISAの概要】

つみたてNISAは、特に少額からの長期・積立・分散投資を支援するために2018年1月スタートした非課税制度です。

つみたてNISA対象商品は、長期・積立・分散投資に適したファンドとして、金融庁に届出を行い、公表されたファンドに限定されており、投資初心者をはじめ幅広い年代の方にとって利用しやすい仕組みとなっています。



<制度概要>

非課税投資枠	新規投資額で毎年40万円が上限
非課税期間	最長20年間
投資可能期間	2018年～2037年
投資対象商品	長期の積立・分散投資に適した一定の投資信託として、金融庁に届出を行い、公表されたファンド

ファンド賞 受賞歴

2018年以降の主な受賞歴は、以下のとおりです。

2019年



R&Iファンド大賞

- ★りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド
アジア通貨コース
投資信託／アジア債券部門『優秀ファンド賞』
2年連続受賞

2018年



R&Iファンド大賞

- ★投資信託／バランス総合部門『最優秀賞』 **3年連続受賞**
- ★投資信託／外国債券総合部門『優秀賞』 **2年連続受賞**
- ★りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド
アジア通貨コース
投資信託／アジア債券部門『優秀ファンド賞』
- ★グローバル変動金利債券ファンド
円ヘッジありコース（愛称：ヘンリー）
NISA／外国債券円ヘッジ部門『優秀ファンド賞』
- ★ハッピーエイジング60 **4年連続受賞**
iDeCo・DC／バランス安定部門
『最優秀ファンド賞』
NISAバランス安定部門『優秀ファンド賞』

※「投資信託／総合部門」のカテゴリーは、運用会社を対象とするものです。

後掲する投資信託およびプロダクトに関わるご注意事項、および当社業務に関する一般的なご注意事項をよくお読みください。（32～33ページ）